

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2008
課題番号：19530207
研究課題名（和文） グローバルな対外不均衡の中長期的動向と、新たな国際通貨システムの成立可能性
研究課題名（英文） Mid and Long term Movements of Global Imbalances and feasibility of New International Currency System
研究代表者 松林洋一（MATSUBAYASHI YOICHI）
神戸大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：90239062

研究成果の概要：

研究では、「グローバルな対外不均衡の中長期的動向と、新たな国際通貨システムの成立可能性」という研究テーマを設定し、同テーマを、経済理論、計量経済学の最近の潮流を踏まえ、多角的に考究した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	700,000	210,000	910,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,200,000	360,000	1,560,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：グローバル・インバランス、貯蓄・投資バランス、国際通貨システム

1. 研究開始当初の背景

現在生起している世界的な対外不均衡は、2008年以降顕在化している世界金融危機、世界同時不況の真因となっている可能性が高い。本研究では、世界経済におけるこのような構造変化の背後にある、各国マクロ経済構造の特徴を精査することを主眼としている。

2. 研究の目的

本研究では、「グローバルな対外不均衡の中長期的動向と、新たな国際通貨システムの成立可能性」という研究テーマを設定し、同テーマを、経済理論、計量経済学の最近の潮流を踏まえ、多角的に考究していくことにした。

3. 研究の方法

まず対外不均衡の発生と変動に関する理論的メカニズムを丁寧に理解、整理することにした。続いて、対外不均衡の核となる貯蓄・投資バランスのダイナミズムを、定量的に分析することにした。具体的には、部門別貯蓄の代替性を理論・実証の両面から考察した。また開放体系における資本ストック調整のメカニズムを精査した。

4. 研究成果

(1) 対外不均衡の理論的メカニズムを正確に理解することを主眼として、経常収支の決定と変動の理論構造を整理した。この整理は大学院レベルの上級テキストの一部として結実させることができた。

(2) 対外不均衡の変動を貯蓄・投資バランスの観点から捉え、貯蓄サイドのダイナミズムを検証した。具体的には、家計貯蓄・企業貯蓄・政府貯蓄という部門別貯蓄の代替性について、理論、計量の両側面から検討した。まず、代替メカニズムを、経済主体の異時点間にわたる最適化行動に立脚しつつ、理論的に明確にした。続いて定量的な分析を試みた結果、家計貯蓄、企業貯蓄については、両国ともに、1970年代以降、若干の代替性が観察された。この分析は、査読制雑誌（「経済分析」）に投稿、受理された。

(3) 投資サイドからの検証を行った。具体的には、為替レートの変動が、国内資本ストックにどのように影響するのかという点について考察した。この点は、開放経済にあるわが国においては、極めて重要な研究課題であるが、先行研究はほとんど存在していない。このような状況を鑑み、本分析ではまず既存の投資理論を拡張、修正させることによって、

開放体系下における資本ストック調整のメカニズムを明らかにし、時系列分析を援用して現実妥当性を検証した。我が国の場合、為替レートの影響は、産業、期間ごとに様々である点が確認された。なお同分析は日本経済学会において報告した。

(4) 上記の分析から得られた知見をベースとして、「グローバル・インバランス」という現象の概念整理を行うとともに、同現象の中長期的な予測も試みた。この包括的展望は、「経済学研究年報」に結実させた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

1. 松林洋一「家計貯蓄・企業貯蓄・政府貯蓄：代替性の日米比較」
経済分析（内閣府経済社会総合研究所） 第181巻
46-77（2009）査読有

2. 松林洋一「グローバルインバランスの概念整理と展望」
神戸大学経済学研究年報 第55巻 65-86
（2009）査読無

[学会発表] (計1件)

1. 松林洋一Exchange Rate, Expected Profit and Capital Stock Adujstment:Japanese Experience
2008年度日本経済学会春季大会
2008年5月31日 東北大学

〔図書〕（計 1 件）

1. 藤田誠一・小川英治編

新国際金融理論（第 3 章「経常収支の理論」）

有斐閣 P299

（2008）

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松林 洋一 (MATSUBAYASHI YOICHI)

神戸大学・大学院経済学研究科・教授

研究者番号：90239062

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者